

令和7年度 第2回飯島町自治組織あり方検討委員会
会議録

と き：令和8年3月18日 午後7時00分～9時08分
ところ：飯島町役場 庁舎2階 防災集会室

出席者（委員：24名）

委員長	飯島町四区連絡協議会会長／飯島区・区長	新井 隆廣
委員	田切区・区長	堀内 善之
委員	本郷区・区長	久保田 英一
委員	七久保区・区長	村田 繁樹
委員	飯島公民館・館長	倉澤 信二
委員	田切公民館・館長	芦部 守彦
委員	本郷公民館・主事	林 成昭
委員	七久保公民館・館長	紫芝 守
副委員長	飯島自治会・会長／鳥居原自治会長	成澤 晃明
委員	赤坂自治会	高橋 圭一
委員	田切自治会・会長／春日平自治会長	紫芝 勉
委員	田切自治会・副会長／北河原自治会長	山田 正志
委員	本郷自治会・会長／本郷第五自治会長	森谷 正郁
委員	本郷第六自治会長	米山 誉智
委員	七久保自治会・会長／荒田自治会長	那須野 彰
委員	七久保自治会・副会長／新田自治会長	下平 勝治（欠）
委員	子育て世代	杉本 友利恵
委員	子育て世代	吉川 さくら（欠）
委員	移住者	松井 芳昭（欠）
委員	移住者	入田 裕加里（欠）
委員	移住者	新家 淳史
委員	公募	久保田 えりか
委員	公募	渡邊 恵美菜
委員	公募	唐澤 岐瑠（欠）

（アドバイザー：1名）

松商学園松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋

（事務局）

飯島町長	唐澤 隆
飯島副町長	宮下 寛
企画政策課 課長	座光寺 満輝
企画政策課企画係 係長	西村 務
企画政策課企画係 主査	湯沢 絢佳
企画政策課企画係 主任	大澤 志織

1. 開会（副委員長）

2. 委員長あいさつ（唐澤町長）

3. 報告事項

—内容について説明（西村係長）—

4. 協議事項

—内容について説明（大澤）—

（白戸先生より補足説明）

このフリートークにしたのは、アンケートでいろいろと全体的な課題や声が出てきていますが、それぞれ今日お集りの皆さんお一人お一人の気持ちや率直な気持ちを共有していただくということで、結論を得るような議論ではありませんので、自治会について日頃思っていることを率直にお話しただければいいのかなと思います。

今日で何か結論を出すというよりはこれを元に今後またこの委員会の進め方等も考えていきたいという風に思っていますのでまずはお一人お一人のお気持ちをお話ししていただければと思います。

また、この中に地域防災と子育てっていうのがありますが、自治組織のあり方を検討する委員会ではありますが、そもそも何のために自治組織があるのかという事が最後は大事になってくると思いますので、自治会のあり方に加えて、地域でこんなことは大事ではないかということや課題等についても自由にお話ししていただければ。トークの中で脱線などもしていただいて、まずはグループの中でコミュニケーションを取っていただければと思います。

— 質問 —

（紫芝委員）

役割分担の内容について、模造紙に書いたり付箋出しをする役割などについて説明をしていただきたい。

（西村係長）

記録係の方に模造紙や付箋に書いていただく。資料にまとめ方のイメージを出してありますので参考にさせていただき、各グループで付箋に書いていただくなど自由にまとめていただければと思います。

（新家委員）

今回の会議は特にテーマを定めず、フリーでいいのか。自治組織を存続していくために、必要な事項について検討を行うとなっていたが、提言というものは我々が出すものなのか。

(白戸アドバイザー)

このような会議を色々なところでやっておりますが、自治会の問題点っていうのはアンケートにもあったように、役員のなりてがないとか、役員やっていて大変だなと思って暗い気持ちになっているんですが、課題は人口が減っていて高齢化して、しかも皆さん60、65歳過ぎて働いているので、自治会のあり方だけを検討していても、なんとなく煮詰まってしまうことがある。その時に、防災や子育てだとか地域によって自治会と関係ないところでも解決したりみんなで取り組まなければいけない課題はあって、例えば自治会活動の結びつきや、あるいはそういったものに合わせる形で自治会活動を考えてとか、後々の展開を考えていくと、自治会にかかわること、あるいは皆さんのお住まいの地域にかかわることをまずは自由に話し合ってください。今後の進め方のヒントをこの会全体として見つけていく。事務局が資料用意して、読んで、いいですか、はいそうです、で終わりというところが多いですが、それでは多分解決はしませんのでまずは1人1人の思いを出していただくところから始めたいというのが今回の趣旨です。

(新家委員)

せっかく貴重なアンケートしていただいて、自由意見で住民の方の困っている意見もあるので、それに対して委員会の中でこういう改善をしたらいいなどの改善方法を提案するのがいいのか、よくわからない。

(白戸アドバイザー)

それも一つだと思いますが、それとともに委員の皆さんが主体となって考えていくという方法も大事だと思います。アンケートまとめていただけだったら委員会がなくてもできちゃうこと。地域によっても変わってくるし、価値観もあるのでみなさんでお話ししていただくことから始めたいと思っています。

— 3グループに分かれて自己紹介、役割決めの後フリートーク(40分間) —

Aグループ

- ・進行役 : 那須野委員
- ・記録 : 米山委員
- ・タイムキーパー : 久保田委員
- ・発表者 : 新家委員

Bグループ

- ・進行役 : 山田委員
- ・記録 : 久保田委員
- ・タイムキーパー : 森谷委員
- ・発表者 : 渡邊委員

Cグループ

- ・進行役 : 紫芝委員
- ・記録 : 倉澤委員
- ・タイムキーパー : 村田委員
- ・発表者 : 成澤委員

— まとめ（10分間） —

— 休憩（5分間） —

— 発表 —

Aグループ（発表：新家委員）

- ・お金の関係で、人が現金を集金していたものを、口座振込や口座から引き落とししてもらえるようなものなどどうだという意見が出ましたが、振込した場合は手数料がかかる。1,000円の会費を払うのに、200円などの手数料がかかるのは嫌だという意見が出てくるのではないかとということで、集金の仕方を変えたらどうかという意見が出た。毎月ではなく、まとめて1年に1回または半年に1回や3か月ごとなど。
- ・自治会に入るまで集金の金額や集金自体あることを知らなかったという意見もあった。移住者としては、高いと感じます。
- ・自治会によって集金の金額やお金の回収方法もまちまちで差がある。
- ・お金の使い道について、楽しいことに会費を使ってほしい。お祭りや花火大会など。
- ・ある自治会では、予算がなくエアコンがない。お金がないと夏も暮らせない。

Bグループ（発表：渡邊委員）

- ・自治会運営に関する意見が中心で、一番意見が多かったものとしては、役員を選出や決め方について困難だという意見が多かった。役員を選出が今後できなくなっていくと、自治会の存続が危ぶまれると思う。
- ・会計⇒副自治会長⇒自治会長という流れがある自治会もあり、3年間役員を続けてやるということが大変。断りにくい雰囲気がある。
- ・役員は年齢順で決め、とばすことができないというような雰囲気がある。
- ・会計でのお金の管理が大変。会費は口座振替という意見も自治会内で出たが具体化しないという自治会もあり、自治会費の支払方法をPayPayにしてほしいといった意見もある。
- ・お祭りは継続していきたい。子供も、お祭りや花火は楽しみにしているので、続けていきたいこともあるけれど、なりてもいなくて続けられなくなりそうな部分もあり葛藤がある。

Cグループ（発表：成澤副委員長）

- ・自治会運営の中で、役の関係や業務の関係で、色々やりすぎているところがあるのでスリム化しなければならないとなったときに、無駄なものは排除し、ゼロから

スタートすることが大事ではないか。

- ・回覧や配布物ももう少し簡単な形でできないか。SNS や LINE を使ったり、町のホームページにぶら下げてもらって、そこへ自治会の情報を入れてみたりなどができるのではないか。
- ・人と人が集まる場所、交流することは大事。コミュニケーション不足になっていると思うので、共に生きていくためにはつながりをどうしていくか。お祭りという話もありましたが、飲み会も大事にしていきたい。

— 白戸アドバイザーより講評 —

皆様ご苦勞様でした。感じたことを何点かお話ししようかと思っております。

最初にも言ったんですが、自治組織には課題がたくさんあって、負担も大きくて、あるいは若い人と年配の人たちの間に意識のギャップがある。加入率もかなり下がっています。どうやって制度を改善していくか、負担を減らすかが一点。ただその中で、仕分けしなければいけないんだろうなという事。自分たちで知恵を出してできることもあるが、行政にきちっと例えば委託業務の軽減だとかやってもらわなきゃいけないこともある。駒ヶ根なんかは来年度から集落支援員みたいな人を置いてサポートを始めることになっています。一番簡単にできることといえば僕の町会で、数年前に衛生部長をやってほしいと言われたことがあり、僕は大学の野球の部長もやってるので当時は4か月週末いない、金土日月と遠征で試合をやっていたので無理だろう、困ったなとなったときにPTAの近所のお母さんたちが「3人だったらやってもいい」と言い、3人で衛生部長をやるんです。最初3人でやれば負担軽減になっていいかなと思っていたがそうじゃなかったです。楽しくお話が毎週できる、と楽しそうにやってらっしゃったんですね。その中でうちの組ってというのは25年前くらいにできて、みんな新住民なんですけれども、やっぱり今の我々の世代くらいってというのは、阪神も東日本も見てますのでいわゆる地域の中で人がつながるってということが、命にもかかわるといふ経験を実感を持っているので割と皆さん協力的。そのときに嫌なものがあるとそれをどうやったら乗り越えられるかとやっぱりそういうことだったんですね。うちの組は資源ごみ当番が年に2回くらい回ってくるんですけども、7時から8時半までで前半後半に分けて2組でやるんです。そうすると、仕事に早く行かなきゃいけなくて、早くやりたい人は7時から7時45分くらいまでやり、逆に子供を送り出したりするから遅いほうがいいよって人は7時45分から8時半まで。そうすると皆さん出やすく、出てくれるので来年度からは30分刻みくらいにしよう。それはやっぱり関係性が良くなっているからそういったことができるっていうことですよ。大きなことではないんだけど、解決できることも多分あるんだろうなと思います。

難しいのは、例えば組だとか、自治会それぞれによって事情が違ったり、人間関係が違うので、振込の話が出ましたけれども、松本町会では寄附だとか、自分が自発的にやるものは振込にして、会費だとか定額に決まっているものは4月に一斉に集めちゃうなど。要するに形じゃなくて、何に配慮するんだとか、どう改善するかっていうことがすごく大事だと思うんですね。金融機関もないところで振込すると大変だし、そういうことも含めて個別に考えていく。その際にそれからもう一つ大事なことがあって、信頼関

係ってあるんだと思うんです。僕の町会で、組長は新しく入った人に入区費をいただきに行くんです。うちは3,000円だったんですが、ある人から「何で3,000円なのか」と聞かれて答えられなかったことがあった。その時に「そんなもの昔から決まってるんだ、文句あるのか」と言ってしまう人が多いんです。それはやっぱり決定的な不信感を持ちますね。その時にうちの町会長がうまいこと言って、昔から公民館つくるなどの時はみんなでお金を出し合ったりしてやっていたと、そこに新しく来た人はタダでこれから使うのでよろしくお願ひしますと昔は酒2升を持って歩いたと。大体1,500円で2本で3,000円と。という納得してくれるんですね。要するにそういうことが大事で、わからない人にちゃんとわかるように説明をするっていうその態度が信頼関係を作っていく一つのことになってくるんじゃないかなと思います。この辺っていうのは、こういう委員会で何かを決めてやるっていうよりかは現場でやるようなことがあるので、それから役場ができることで例えば事務負担の軽減だとかいろんなこと。

ただ問題なのはうちの学生たちが就職するときに、働くのも大変だけど働かなきゃいけないから、できるだけ休みが多くて給料が高くてっていうところに就職したいっていうんですが、その時に彼らに言うのが、嫌なものはどんなに楽であっても嫌だぞと、なのでやりがいのあることを見つけたほうがいいんじゃないの、っていうんですが町会もそうなんですよね。やっぱりいくら軽減しても嫌なものは嫌なんです。何故かっていうといくつかあるんですが、一つは本来大事なことであるんですね。ゴミや河川の清掃などあるかと思いますが、どうしてそれが大事かっていう事が共有されているか。うちは関係ないからと河川の清掃をしなければ、水が止まって溢れちゃう可能性があります。嫌なだけでやらなきゃいけない大事なこと。例えば防災。白馬の軌跡って皆さんご存じだと思うんですが、白馬で地震があったときに、警察や消防がみんな助け出し、かなりの倒壊件数だったが死者が0だった。その話を長野の長沼地区の人たちが聞いて、千曲川の堤防があるんですがそこが決壊したときどうするかっていう事を区長さんを含めていつ区長がどういう連絡をするか、誰が誰を連れて逃げるかっていう事を決めていて、千曲川の決壊の時に死者がなかったんです。災害時に人と人がつながってるかどうかということが命がかかっているということもあるということで、ちゃんと勉強して、自治会などで取り組まなきゃいけない課題。

もう一つは、やってみたいことというものもあると思います。自治会そのものに対する不満というものが何のためにそのことをやっているかというのが、みんなが理解してないために出てきている不満が結構ある気がするんです。もちろんそれでも消えないかもしれないけど少なくとも、不満を消せるものは消すという努力は、やっぱり何のために自治会があって、もっと言えばそれをやるためにどういう自治会であってほしいというところまで行くと、かなり自治会としての意義は共有されるのかなと思っています。

松本にある小学校で、地元の町会が小学校が欲しくて運動をして誘致して作った小学校があります。子供たちを自分たちの地域で育てたいという思いが町会としてきちっと目的としてあって、そういうところっていうのは今でも町会がきちんと動いてる。

元々、自治会は昔は農業を維持する組織だった。水路の管理だとか、ため池の管理とか。それでやらないと食べていけないからみんなやっていたけど、外でお金が稼げるようになったらやらなくても生きていけるわけですから、余計にそういう目的とかに気を

使っていないとこういう組織ってうまくいかないんだと思います。そのようなことを皆さんのお話の中で感じさせていただきましたが、実効性のある会議ができればいいかなと思っています、よろしく願いいたします。

— 質問 —

(米山委員)

4月から自治会長が変わりますが、事務局からはできれば引き続きやってほしいということなんですが、他の自治会長さんは最後まで皆さんやるつもりなのか、次の自治会長に回すのか、事務局としての意見は。

(西村係長)

この会議を開くに当たりまして、自治会長会長や副自治会長会長ですとか、また区会の皆様とも調整してまいりました。自治会長は1年任期ということで、聞いております。事務局としますと、できれば引き続きお願いしたいと思っておりますがそれぞれ自治会の実情がありますので、そこについては事務局のほうも是非というわけではないですが新しい自治会長さんになった場合は事務局から引き継ぎや説明等したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(高橋委員)

自由記述にコンプライアンス上、不適切と受け取られかねない言動のような記述がありました。こういった問題が発生した場合の窓口はありますか。

(西村係長)

今回のアンケートは自治会に加入されている方に回答していただいておりますが、誰が回答したかなど把握できておりません。事実関係につきましてもアンケートなのでわからないですが、確認させていただきます。

(副町長)

窓口については、行政相談みたいなものがありますが、過去の例がないと思いますので調べてからご返答したいと思います。

5. その他(大澤主査)

— 今後のスケジュールについて説明 —

6. 閉会(副委員長)